

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 総務-10 人事管理事務						
主管課	職員課	関連課					
分野名	行財政運営						
目標 (目標値)	多様で有為な人材の確保と適材適所の職員配置に努めるため						
人口等のデータ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考		
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯			
事業の対象者数	1,377人	1,410人	1,400人				
運営資源状況	決算値(千円)	13,973	26,831	33,004			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	13,973	26,831	33,004			
	人員配置数	4.5	4.5	4.2			
	人件費(千円)	36,022	38,320	36,338			
	協働のパートナー						
事務事業運営経費	総事業費(千円)	49,995	65,151	69,342			
	市民1人当りの経費(円)	282	368	391			
	対象者1人当りの経費(円)	36,307	46,206	49,530			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)
多様で有為な人材確保を目的とした職員採用試験の実施	◎	目標値	受験者数 276人	受験者数 572人	受験者数 844人	受験者数 920人	
		実績値	合格者数 49人	合格者数 68人	合格者数 41人	合格者数 65人	
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
人事管理事務	12,755千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	各種通報、相談(公益通報、不当要求)、職員考査委員会の運営、資格取得奨励事業、職員情報管理、人事評価制度の実施			
職員採用事務	1,218千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	各種職員採用試験の実施			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	・人事評価・実績評価の運用と導入 ・職員採用試験の実施		
課題解決のための取組	・8級職における実績評価を実施、その評価結果を平成25年6月期の勤働手当に反映する。また、7級職における実績評価を試行し、本格導入に向けた検討を行った。 ・昨年度に引き続き、人物重視(面接重視)の採用試験を実施した。	取組の結果	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題	・7級職における実績評価について再検討が必要である。対象者における評価方法や予算への影響等を見極めたうえで本格実施する必要がある。 ・人物重視(面接重視)の採用試験方法を当面継続する。その結果を勘案し、今後の試験方法の検討材料とする。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性 ○		・7級職における実績評価について、平成24年度試行の結果を検証し、評価方法や予算への影響等を見極めたうえで本格実施に向けて検討する。 ・人物重視(面接重視)の採用試験方法を当面継続し、その結果を勘案し、今後の試験方法の検討材料とする。	課長等名
③有効性 ○	B	職員課担当課長			
④公平性 ○		服部 計利			

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
人事管理事務	主な個別事業	505 公益通報相談員報酬	30	0	○	○	△	○
		505 不当要求防止相談員報酬	120	0	○	○	△	○
		505 職員考査委員会委員報酬	260	210	○	○	○	○
		505 職員資格取得奨励費	300	0	○	○	○	○
		505 人事給与システム運用支援業務委託料	5,915	5,095	○	○	○	○
		505 システム更新データ移行業務委託料	10,500	0	○	○	○	○
		505 人事給与システム賃借料	10,687	5,603	○	○	○	○
		505 各種会議等出席者負担金	311	82	△	○	○	○
職員採用事務	主な個別事業	506 採用試験委託料	2,129	1,143	○	○	○	○
主な個別事業								
主な個別事業								
主な個別事業								